

## 平成22年度の保険料率(案)

(案1) 歳入不足分(8億7,800万円)を全額料率改定で解消(改定率23.16%)

区分	平成21年度(現行料率)						平成22年度(案)						現行料率と平成22年度(案)の差					
	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間保険料	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間保険料	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間格差			
医療分	5.7	16.8	20,500	23,200	144,300	9.0	17.5	25,500	28,200	200,900	3.30	0.70	5,000	5,000	56,600			
後期高齢者支援分	2.3	4.4	7,100	5,700	51,000	2.3	4.4	7,100	5,700	51,000	0.00	0.00	0	0	0			
介護分	2.1	4.4	7,700	5,200	49,100	2.1	4.4	7,700	5,200	49,100	0.00	0.00	0	0	0			
年間保険料合計					244,400					301,000					56,600			

※年間保険料(モデル世帯): 基準総所得金額1,250千円、課税対象資産税額53千円、均等割2人、平等割1世帯

(案2) 歳入不足分の約1/2の額(4億7,400万円)を料率改定により解消(改定率12.32%)

区分	平成21年度(現行料率)						平成22年度(案)						現行料率と平成22年度(案)の差					
	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間保険料	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間保険料	所得割(%)	資産割(%)	均等割(円)	平等割(円)	年間格差			
医療分	5.7	16.8	20,500	23,200	144,300	7.4	16.8	23,500	26,000	174,400	1.70	0.00	3,000	2,800	30,100			
後期高齢者支援分	2.3	4.4	7,100	5,700	51,000	2.3	4.4	7,100	5,700	51,000	0.00	0.00	0	0	0			
介護分	2.1	4.4	7,700	5,200	49,100	2.1	4.4	7,700	5,200	49,100	0.00	0.00	0	0	0			
年間保険料合計					244,400					274,500					30,100			

# 国保料比較表

モデル世帯(所得金額 1,250,000円、資産割額 53,000円、世帯員 2人、平等割 1世帯)の年間保険料

(医療分)

	現行料率	案(1)	案(2)
所得割	5.7	9	7.4
資産割	16.8	17.5	16.8
均等割	20,500	25,500	23,500
平等割	23,200	28,200	26,000
計	144,354	200,975	174,404

(全体分)

医療分	144,300	200,900	174,400
後期支援分	51,000	51,000	51,000
介護分	49,100	49,100	49,100
計	244,400	301,000	274,500
増加額		56,600	30,100

